

# 「<sup>ぜい</sup>税<sup>つ</sup>って<sup>な</sup>ん<sup>だ</sup>ら<sup>う</sup>？」



どうが<sup>み</sup>を見て<sup>べん</sup>きょうしよう！

## 《ちえいとうんこちゃん》



ある<sup>もり</sup>森にうんこちゃんと<sup>どうぶつ</sup>動物<sup>す</sup>たちが住んでいました。うんこちゃんたちは自分<sup>じぶん</sup>たちで<sup>つく</sup>った<sup>た</sup>食<sup>もの</sup>べ物をこうかんしていましたが、、、

つづきはこちらから⇒



## 《みんなのためだから》

作成協力:さいたま市立浦和南高等学校(漫画研究部・演劇部)



ある<sup>むら</sup>村に、いろん<sup>どうぶつ</sup>な動物<sup>はる</sup>たちがくらしていました。春<sup>はる</sup>になると動物<sup>どうぶつ</sup>たちは子<sup>こ</sup>育て<sup>そだ</sup>で<sup>おお</sup>だいそがし！そんなある夏<sup>なつ</sup>の日<sup>ひ</sup>、、、

つづきはこちらから⇒



## 《ふしぎなはこ》

作成協力:私立宇都宮文星女子高等学校(美術デザインコース)



<sup>どうぶつ</sup>動物<sup>く</sup>たちの暮<sup>もり</sup>らす森に、とつぜん、ふし<sup>はこ</sup>ぎな箱<sup>あらわ</sup>が現<sup>もり</sup>れました。森のみんなは、その箱<sup>はこ</sup>が気<sup>き</sup>になってしかたありません。その箱<sup>はこ</sup>には大<sup>あ</sup>きなあなが開<sup>あ</sup>いていて、、、

つづきはこちらから⇒

